

チャットGPT活用

朝日生命 社内照会に自動回答



朝日生命保険は22日、対話型人工知能「Chat（チャット）GPT」の社内利用を始めた。保険の約款や社内規定などの照会などで活用を始めた（イメージ）

「Chat（チャット）GPT」の社内利用を始めた。保険の約款や社内規定などの照会などで活用を始めた（イメージ）

市）がITサービスのクレスコと連携し、チャットGPTをベースにした朝日生命独自のAIチャットボットを開発した。

田生命保険は4月、チャットGPTを社内業務に活用する実証実験を始めた。資料作成やプログラミングのサポート、アイデア創出などで活用を進める。

業務マニュアルや保険の約款などをAIに学習させ、社内照会に自動回答する。従来は電話で担当部署に問い合わせることが多く、AIチャットボットの活用で大幅な業務効率化を見込む。

損害保険業界でも東京海上日動火災保険が月内にも保険の補償内容の社内問い合わせに対話型AIを試験利用する。三井住友海上火災保険や損害保険ジャパン、あいおいニッセイ同和損害保険も業務への導入を検討している。

用する。厳格なセキュリティ基準で運用される米マイクロソフトのクラウドサービス「Azure OpenAI Service」を活用し、機密情報が外部に漏れない対策を施した。業務効率化し生産性の向上を目指す。

朝日生命のシステム子会社、インフォテックノ朝日（東京都多摩

市）がITサービスのクレスコと連携し、チャットGPTをベースにした朝日生命独自のAIチャットボットを開発した。

田生命保険は4月、チャットGPTを社内業務に活用する実証実験を始めた。資料作成やプログラミングのサポート、アイデア創出などで活用を進める。

損害保険業界でも東京海上日動火災保険が月内にも保険の補償内容の社内問い合わせに対話型AIを試験利用する。三井住友海上火災保険や損害保険ジャパン、あいおいニッセイ同和損害保険も業務への導入を検討している。